

・受難節第五主日

泉のほとり

今月の詩編「第三十一編」

主の慈しみに生きる人はすべて、主を愛せよ。

主は信仰ある人を守り

傲慢な者には厳しく報いられる。



地の塩、世の光

「あなたがたは地の塩、世の光である」と主イエスが言われたのは、生まれたばかりの、わずかな数の弟子の群に向かつてです。主は喜んで、そう言われたのです。

塩は命を支えるものです。草を食べて暮らしているサバンナの象が、時々山の中の洞窟に行き、その土を食べるそうです。その土には塩分が含まれているからです。

象はまさしく「地の塩」を食べて生きているのです。

地の塩である主イエスの弟子は、この世に欠かせない存在です。そしてそれには、代わりがありません。砂糖

の代替物は多くても、塩の代替物はありません。この世にどれほど多くの宗教があり、多くの人が集まっても、主イエスの弟子の代わりにはならないのです。

主は同時に、彼らを「世の光」と言われました。主イエスの時代、イスラエルの民衆は夜になると小さな皿にオリブ油を入れ、芯を入れて火をつけて明かりにしました。高価な油を燃やすので、火は高い所において部屋全体を照らすようにしたのです。そのように主の弟子たちは、世を照らす光だと主は言われたのです。

ですから主の弟子たちは、塩味を失ってはならず、光を升の下に隠してはなりません。でも主の弟子であるわたしたちがもっている塩味とは、光とは何でしょうか。

人々があなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるように、と主イエスは言われます。立派な行いをして、自分たちが誉められるのではなく、

神さまが誉められるのです。そんな立派な行いとは何でしょうか。

主は、弟子になつたばかりでまだ未熟な者たちを、地の塩、世の光と言われました。彼らが一番多くもっているもの、それは主に対する感謝と喜びです。ですから、弟子がもっている塩味とは、光とは、この感謝と喜びです。「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」とは、塩味を失うな、光を消すな、ということです。

画家として多くの絵を描かれた杉田幸子姉は、酒井光子姉という教会員との出会いがきっかけで教会に來られました。出会ったときの酒井姉の印象は「不思議な人」だったそうです。酒井姉は生まれつき体が弱く、生活も苦勞が多くありました。でも教会が大好きで、主イエスを心から愛していました。どうしてこの人がこんなに喜んでいられるのか、感謝していられるのか、不思議だったのだと思います。その不思議さに惹かれて杉田さんは教会に來られ、ご自分も不思議な人のひとりになりました。

いつも喜び、絶えず祈り、どんなことにも感謝する人は、不思議な人と思われるでしょうが、自分自身が賞賛されることはなく、その源にいます神さまが賞賛されます。そのようにして神さまに出会った人にとつて、彼らは地の塩、世の光となるのです。

2023年度

教 会全体課題

日々聖書に聴き、

御言葉に従って歩む。

2023年度

心に刻む御言葉

生まれたばかりの乳飲み子のように、混じりけのない霊の乳を慕い求めなさい。これを飲んで成長し、救われるようになるためです。

(ペテロの手紙一 2章2節)

《今日のお知らせ》

○礼拝後、一二時一五分(目処)より、三月総会を礼拝堂で行います。教会員はご参加ください。

○二〇(日水)一〇時三〇分より、新旧役員研修会を行います。関係者の方々はご参加ください。

○受難節を過ごしています。この一年、受けた恵みを原稿用紙二枚(八〇〇字以内)で書きいただき、ご提出ください。メールでの提出も受け付けます。

アドレスは tent@gloria-chapel.com です。

《ぶどうの会より》

教会総会のため、本日のぶどうの会はお休みです。

《教会事務所より》

二〇二四年度の十分の一献金袋を皆さまの状差しに配布しました。

《手仕事の会 オリーブより》

オリーブの会が、ご一緒に奉仕してくださる方を募集いたします。

日時 奉仕の内容は次のとおりです。

・三月三〇(日土) 午前九時～一二時

ケーキを焼く作業に一名

・三月三一日(日) 午前一〇時二〇分～一〇時五〇分

ケーキの販売に一名

浅川姉か三澤姉にお声かけください。どうぞよろしくお願いいたします。

《シオンの会より》

三月一九日(火)一〇時三〇分～一二時シオンの会を第二第三シオンルームで行います。(オンラインも併用します。今月は火曜日です。)

テキスト「聖書が教える世界とわたしたち」P.105 救いの実現(二五)主イエスの洗礼から読みます。参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《今後の予定》

○三月二八日 聖晚餐礼拝(午後七時より)

○三月三一日 イースター礼拝

(午前九時半、

一一時からの二回礼拝)

○四月七日

役員任職式

信仰者に学ぶ会

公 告

左記により、三月教会総会を開催いたします。
現住陪餐会員はご出席下さい。

記

キリスト品川教会
代表役員 黄 允湜

日時 3月17日(日) 12時15分(目途)から
場所 キリスト品川教会礼拝堂及びリモート(Zoom)

議題

- 一 2024年度教会全体課題案に関する件
- 二 2024年度教会行事予定案
- 三 2024年度主日および週間集会予定案
- 四 2024年度教会一般会計予算案
- 五 2024年度地域センター会計予算案
- 六 2024年度グローリア・チャペル
経費管理会計予算案
- 七 2024年度附属幼稚園会計予算案
- 八 2024年度グローリア・チャペル
施設管理会計予算案

※議員資格 満18才以上の現住陪餐会員。

(陪席) 義務教育終了後満18才未満の現住陪餐会員と不在
会員、教会員でない附属幼稚園教諭は、教会総会に陪席する
ことができます。

(キリスト品川教会教規第3章第14条より)

2024年度

教 会役員候補者

キリスト品川教会
代表役員 黄 允湜

教会役員会は次の10名を役員候補者として
選考いたしました。

石川 一	井手 英利史
楠 浩介	楠 富士子
佐山 貴亮	杉田 博
館山 智紀	三澤 えり子
山名 隆史	山名 弘史

《今日の子ども礼拝》

説教 「見捨てられたキリスト」
聖書 マタイ27章15～26節
説教者 古村 和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)
説教 「主の十字架、人の罪」
聖書 マタイ27章27～44節
説教者 宮間 彰広 兄

●主日礼拝(午前10時30分)
讃美歌 140番 138番
説教 「人の代わりに死ぬ」
聖書 ヨハネ11章45～57節
説教者 黄 允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 143番 279番
説教 「わたしは復活であり、いのちである」
聖書 ヨハネ11章1～16節
38～44節(新約P.188)
司式 石川 一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「懺悔と悔悟に」(マタイ受難曲第10番)

J.S.バハ

○ 讃美歌143番

1. 十字架をあおぎて めかずくときに
まさりてとうとき おりこそあらね
2. ここよりしたたる めぐみの水は
枯れにしこの身の いのちなりけり
3. おもえばみくには ここにぞ成れる
のろいをさかえに 主はかえませり
4. せいなるかなしみ こころにせまり
なみだとあふれて み足をひたす
5. のぞみはあらたに ここより湧きて
つみとがおそれは あとだにあらじ
6. あおぐもかしこき すくいのきみの
十字架のもとより いかでか離れん

アーメン

○ 聖歌隊による讃美

「愛するイエス」 J.クリューガー作曲
愛するイエス 何をなされて
こんな裁き 受けられたか
どんな罪を おかされたのか
愛する主は

鞭打たれ 茨の冠
かぶせられ 蔑まれた
酸(す)いぶどう酒 十字架の上で
口にされた

羊飼いは 羊のために
その命 あえて捨てる
正しい主が しもべのために
罪を担う

なんと深い 主のみ心よ
なんと広い イエスの愛よ
責め苦の道 歩まれたのは
私のため

○ 讃美歌279番

1. 世のほこる 知恵とさとり
頼りがたきを 知らしめたまえ
月かげの 青きより澄みて
わが魂にそそがせたまえ まことのひかり
2. 世のしたう 愛となさけの
移り易きを さとらせたまえ
あかつきの ひかりより清く
わが魂に みたしめたまえ とこしえの愛
3. 主にありて 生くるわが身の
きよき喜び うたわせたまえ
真理、愛 いのちも望みも
主よりいずれば あおがせたまえ
イエス・キリストを

アーメン

聖餐曲「不思議な愛」D.ワット

後奏曲「前奏曲ト短調」J.フーラムス

※ 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。